今日使用する生成AIサービス

●サービス名：Copilot
●提供元　　：Microsoft

●サービス名：ChatGPT
●提供元　　：OpenAI

●サービス名：Gemini
●提供元　　：Google

～生成AIを使ってシーンスケッチテストの作品をつくってみよう～

画像生成AI体験会

令和8年8月24日(月)10:00~12:00(高校生～一般対象)

今年のテーマ
私の暮らしにそっと寄り添う、
ロボットがいる毎日



熊谷市様 / 所要時間：2時間

CONFIDENTIAL
本情報は、NTT-MEが所有する情報であり、許可した目的以外で使用することを禁止します。
【提示先：熊谷市様及び許可された範囲に限る】

本日の到達点

2時間後にできるようになること

コンテストに出すための絵の案を作って応募する

- コンテストの要件がわかる
- 応募向けのアイデアを1つ決める
- プロンプトを作って画像を生成する
- タイトル・説明文・提出情報を整える
- 応募する

本日の流れ

理解する

- コンテスト要件
- 生成AIの基本
- 安全な使い方

作る

- 設定シーンを選ぶ
- ロボットを考える
- プロンプトを作る

仕上げる

- 画像を選ぶ
- 文字を入れる
- 応募情報を確認
- 応募する

第4回シーンスケッチコンテストの概要



募集テーマ

私の暮らしにそっと寄り添う、
ロボットがいる毎日

応募期間

令和8年6月1日（月）～9月30日（水）

募集部門

- リアルな暮らし部門：数年後～10年先
- 未来創造部門：10年以上先の自由な未来

設定シーン

① 移動・配送を便利にする

② 熊谷の暑さを快適にする

③ 安心・安全なまちを創る

今年のキーワード

誰の困りごとを、どのロボットが助けるか

- 人型に限らない。役割に合った形でよい
- 移動・防災・見守り・暑さ対策などから考える
- 熊谷らしさを入れると作品に説得力が出る

発想の軸：人 → 困りごと → ロボット → 場面

生成AIとは何か

AIは「発想を形にする道具」

- 文章で「描いてほしい内容」を指示できる
- 短時間で複数の案を試せる
- 画風・構図・比率を変えて比較できる

AIに任せるのではなく、人が目的を決めます

プロンプトの基本構造

AIに渡す画像の設計図

［主題］＋［場面］＋［人との関係］＋［画風］

- 主題：何を描くか
- 場面：どこで、誰が、何をしているか
- 仕上げ：画風、比率、明るさ、構図

シンプルな指示（プロンプト）を育てる

一文ずつ情報を足します

- 最初：熊谷の暑さを快適にするロボット
- 次に：場所・人・ロボットの役割を足す
- 最後：時間帯・雰囲気・画風・比率を足す

例えば、、、

真夏の熊谷駅前で、人々に日傘を配りながら
暑さ対策を手伝うロボット。
明るく爽やかなアニメ風イラスト

指示すると

AIが生成



「生活がどう良くなるか」まで書くと伝わります

スタイルと比率

応募形式に合わせて最初から指定します

リアル写真風

- 近い未来
- 生活感
- 実現性

イラスト風

- 親しみ
- 説明しやすい
- 子ども向け

A4を意識

- A4横を推奨
- jpg 5MB以下

実習①：設定シーンを選ぶ

5分ワーク：誰を、何から助けるかを書く

① 移動・配送を便利にする

② 熊谷の暑さを快適にする

③ 安心・安全なまちを創る

メモ欄

設定シーン①：移動・配送

リアルな暮らし部門の例



もたらされる進展

- 高齢者の買い物を支援
- 荷物を運び、道案内もする
- 家族で外出しやすくなる

移動の不安が減り、街に出やすくなる

設定シーン②：熊谷の暑さ対策

リアルな暮らし部門の例



見せたい変化

- 体育館の温度・湿度を見守る
- 危険な場所にミストと風を送る
- 先生が安心して活動を続けられる

暑さを我慢する街から、暑さと共存する街へ

設定シーン③：安心・安全

未来創造部門の例



見せたい変化

- 街灯とロボットが連携する
- 光のガイドで横断を支援する
- 保護者が安心して見守れる

危険が起きる前に、まちの安全を確保する

2つの部門の違い

同じテーマでも未来感の強さが変わります

リアルな暮らし

- 数年後〜10年先
- 今ある技術の応用
- 生活感・実現性

未来創造

- 10年以上先
- 自由な発想
- 夢・希望・未来感

迷ったら

- 近い未来ならリアル
- 大胆なら未来創造
- 生活変化を見せる

オリジナルロボットを設計する

4つの質問で考えます

- 役割：何を助けるのか
- 形：人型・車型・ドローン型・動物型
- 利用者：子ども・高齢者・家族・職員
- 変化：使う前と後で暮らしがどう変わるか

例えば、、、

役割　：移動を助ける
形　　：動物
利用者：高齢者
変化　：移動の負担減

指示すると



「かっこいい」より「役に立つ理由」が大切

シーンスケッチの構図

一枚の絵で未来を伝えます

- 主役を決める：ロボット・人の表情・変化した街
- 季節を入れる：真夏、夕方、雨上がりなど
- 生活小物を入れる：買い物袋、ランドセル、温度計

例えば、、、

主役：ロボット、おばあちゃん
季節：夏の夕方
生活小物：買い物かご

指示すると



ロボットだけでなく「人の暮らし」を描く

実習②：プロンプトを作る

順番に埋めていきます

- 部門を選ぶ
- 設定シーンを選ぶ
- 困りごととロボットの役割を書く
- 場所・人・雰囲気・画風を足す

一行アイデアから始めれば大丈夫です

生成結果チェック

出た画像をそのまま使わず確認します

- 伝わるか：設定シーン・誰を助けるか
- 見やすいか：主役・明暗・A4の構図
- 問題がないか：文字崩れ・不自然さ・権利面

良い画像でも、提出前チェックは必須

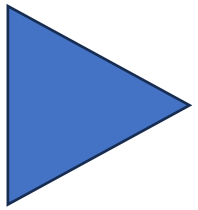
プロンプト修正の基本

足りない要素だけを足します

- 主役が小さい →「画面中央に大きく」
- 場面が弱い →「熊谷駅前」「体育館」など具体化
- 未来感が弱い →「センサー」「光」「自律走行」
- 生活感が弱い →「買い物袋」「ランドセル」

「ドローン」のみ





「光・センサーを放つドローン」



長くしすぎず、1回ごとに少し修正します

文字入れと作品説明

AIに日本語文字を描かせすぎない

- タイトルは短く、場面が伝わる言葉にする
- 説明文は「暮らしがどう変わるか」を書く
- 文字は生成後にPowerPointやCanvaで載せる

重要

作品表面にはタイトルと説明文が必要です

コンテスト応募時の必須事項

提出前に必ず確認します

- 電子データ：jpg / jpeg、5MB以下
- 紙：A4サイズ
- AI使用時：プロンプトと生成AI名を記載
- 作品：自作・未発表、権利侵害なし

各部門につき1人1作品ずつ応募できます

安全にAI画像を使うために

トラブルを避ける基本ルール

- 実在人物に似せすぎない
- 既存キャラクターや企業ロゴを使わない
- 他人の写真・素材を勝手に使わない
- AI使用時は、指定どおり記録する



迷ったら「使わない・描き替える」が安全です

コンプライアンス：応募前チェック

公開できる作品か、人の目で確認します

- 応募規定：部門・設定シーン・提出形式を確認
- 権利：自作・未発表・許諾ありの素材だけ使う
- 個人情報：名札・住所・顔写真などを出さない
- 表現：差別的・攻撃的・不安をあおる表現を避ける

判断基準：本人・権利者・保護者に説明できるか？

実習③：作品を仕上げる

最後は応募できる形に整えます

- 1枚を選ぶ：テーマが一番伝わる画像
- 整える：余白・明るさ・色味
- 文字を載せる：タイトルと説明文
- 記録する：プロンプトと生成AI名

仕上げの目安：20分

作品レビューと講評

作品を磨く時間です

- 発表：タイトル・部門・ロボットの役割
- 見る点：テーマ表現・暮らしの変化・構図
- コメント：良い点と改善点を1つずつ

講評は、応募レベルまで磨くための時間です

まとめ

今年の作品づくりで大切なこと

- テーマに寄り添う：ロボットがいる毎日
- 熊谷らしさを入れる：暑さ・駅前・学校・街並み
- 一枚の絵で物語を伝える
- 応募に必要な情報を残す
- 応募する

生成AIは、未来の暮らしを考える道具です

NTT-ME Confidential

作品の応募

作品をメールで送りましょう

- ファイル名を変更
  - 部門名（属性）_氏名

- メール本文に必要事項を記載
  - 部門
  - 設定シーン（①～③のいずれか）
  - 作品タイトル
  - 住所
  - 氏名（ふりがな）
  - 年齢
  - 学生の方は学校名（学年）
  - 連絡先電話番号
  - 何のAIを使ったか（ChatGPT、Gemini等）
  - プロンプト（全文でなく、要旨がわかるもの）

- 作品をメールに添付
  - jpgまたはjpeg
  - 5MB以下

- メール送信先
  seisakuchosa@city.kumagaya.lg.jp

メール送信先　QRコード

サンプル①：移動・配送

リアルな暮らし部門 / シーン①



プロンプトの型

- 場所：熊谷駅前の歩道
- ロボット：小型自律走行配送ロボ
- 人：高齢者と家族
- 効果：荷物を運び、案内する
- 仕上げ：明るい午前、フォトリアル、A4横

サンプル②：熊谷の暑さ対策

リアルな暮らし部門 / シーン②



プロンプトの型

場所：真夏の体育館

ロボット：暑さ対策ドローン

役割：温度・湿度を確認

効果：涼しい風とミストを送る

仕上げ：自然光、イラスト風、A4縦

サンプル③：安心・安全なまち

未来創造部門 / シーン③



プロンプトの型

場所：未来の熊谷市の通学路

ロボット：街灯連携の見守りロボ

人：横断歩道を渡る子ども

効果：光のガイドで安全誘導

仕上げ：夕方、シネマティック、A4横

アンケート・質疑応答

本日はありがとうございました

ご清聴ありがとうございました

- アンケートへのご協力をお願いします
- 不明点はその場でご質問ください
- 研修後の質問フォームは当日版に差し替えます

アンケートはこちらから